

夢じゃーなる

Vol.
10

第3期阪神北地域ビジョン委員会だより

平成18年(2006年)10月

発行：阪神北地域ビジョン委員会

編集：阪神北地域ビジョン委員会広報部会

http://web.pref.hyogo.jp/area/n_hanshin/vision.html

目次

・伊藤委員長あいさつ	2
・グループの活動状況	2
・若年世代との討論会に向けて	3
・第一分野合同企画の案内	3
・語ろう！子育て昔と今！	4
・「伊丹ゆうあい」を訪ねて	4
・出前県民演芸団「はじまるよ～」続々公演！	5
・シンボルプロジェクト～地域見本市開催～	6・7
・こどもと地域の環境会議	8・9
・猪名川流域エコバスツアー	10
・燃え続けるビジョンパートナーの活動	10
・歴史、文化、自然を求めて	11
・社会福祉情報番組を担当、参加して	12
・ホットコーナー	12
・編集後記	12

「みんなでつくる活力あふれる潤いの生活空間」をめざして

阪神北地域ビジョン委員会は、兵庫県知事の委嘱を受けた委員により構成され、「自律的な市民の参画と協働により新しい公の領域を築く」を基本理念に、ライフスタイル・コミュニティ・都市環境・阪神経済の4分野に11の活動グループと広報部会が県民の立場で地域づくり活動を行っています。

題字：早野 邑水

ラストスパートにむけて

第三期阪神北地域ビジョン委員会

委員長

伊藤 順一



早いもので、私たち第三期阪神北地域ビジョン委員百余人が委嘱状を受けてから一年半が経過し、残すところあと半年、ラストスパートの時期に入りました。ビジョン委員会はライフスタイル・コミュニティ・都市環境・阪神経済の四つの行動分野に十一の活動グループと広報部会に分かれ、それぞれ活発にグループ活動を展開しています。

一年目の昨年は、第二次の県民行動プログラムを策定しながら実践活動に取り組み、二年目にあたる本年は、県民行動プログラムの実践とシンボルプロジェクト（本誌六〜七頁参照）の提起を行って参りました。ビジョン委員の活動は、これまで私たちが大事に育んできた「自律的な市民の参画と協働を基本に新しい公の領域を築く」という基本理念に従って、手法は様々ですが、「私たちの地域は私たちがつくる」という意識を一人でも多くの人に理解して頂くことが活動

の中心と考えます。そして、活動の輪が広がり、少しずつでも公に対して意識を持ち行動するといった人が増えていけば、日本の将来は本当の意味で成熟すると思います。愛すべき故郷、この阪神北地域を次世代により良い形で引継ぎ、社会や人に貢献したいと考えています。私たちの活動が、人と人とのつながりを大事にできるもので、それ自体が楽しく、最後に「あなたと出会えて本当に良かった」と思えるビジョン委員会となるように共に頑張っていきたいと思います。最後になりましたが、県民のみなさまの応援をよろしくお願い致します。



グループの活動状況

分野	グループ名	活動状況
第1分野	多世代交流グループ	①多世代交流に関する青壮年への、アンケート調査を実施(対象者:大学生、現役世代…回収数542) ②世代間交流の勉強会 3回開催(3ページを参照ください)
	のびのび子育てサポートグループ	多世代でのびのびと子育てしやすい環境をつくるため、現状把握の学習を重ね、各地域に小さな種をまいています。(4ページを参照ください)
	いきいきメイクグループ	「お化粧をして顔を上げて元気になりましょう!」をコンセプトに、高齢者施設でメイク教室を行っています。(4ページを参照ください)
第2分野	明るく楽しく健幸創りグループ	各地域のボランティアサークルの協力を得て、出前県民演芸団の伊丹・宝塚・川西に続いて、11月10日三田公演決定(5ページを参照ください)
	ニコニコ水曜会	11月26日川西市東谷地区の文化祭、12月3日伊丹市女性・児童センターでのイベントに出演します。
第3分野	夢と希望のしくみづくりグループ	11月23日地域見本市の開催準備のため、グループ員全員が奔走しています。(6〜7ページを参照ください)
	水グループ	①武庫川・猪名川流域の水に関連するガイドマップの発行準備 ②エコバスの実施(10ページを参照ください)
	身近な緑を語り隊!	緑のものしりカードの普及啓発 10月①ありまふじフェスティバル ②秋の花と緑を愛する会 11月 森林と市民を結び全国の集い
第4分野	都市環境(ゴミ問題・地球温暖化防止)グループ	①夢会議参加者へのアンケート調査・分析 ②環境家計簿の配布 ③「こどもと地域の環境会議」への参加準備(8〜9ページを参照ください)
	であいたい	各市町の史跡・文化施設を研修(11ページを参照ください) ・3〜5月猪名川町・川西市 ・6月伊丹市 ・7月三田市 ・9月宝塚市
第4分野	何かいいことクリエイトグループ	地域活動の拠点となっている公民館の運営状況を調査(7月川西市・宝塚市 10月川西市)

各分野の活動紹介

第一分野

★若年世代との討論会に向けて
 「最近の若者は…」や、「こいつはいい
 いませんか？」や「その実態は？」

2007年問題といわれ、労働人口の減少や熟練技術者のリタイアが心配されています。しかし、地域社会に目をむけると、「元気な世代」が地域にあふれることになりました。若者から高齢者まで豊かな人材が地域社会の中で互いに学びあい、交流を通して自立した未来を創り出す！そんな願いを実現したく、私たちのグループは、例会の度に、口角泡を飛ばし、明るく話し合い、行動しています。

昨年は、高齢世代（団塊世代より上の方々）の交流について、アンケート調査を行いました。

結果は、多くの方が「交流をしている」というものの、その相手世代は五十歳代以上が中心であり、多世代交流とはいえないようでした。また、若い世代との交流を望む一方、「交流の場」や「世話役的リーダーの存在」が必要だと、やや受身的な姿が浮かび上がってきました。

では、若年世代は交流についてどう考え、多世代交流がされているのでしょうか。フォーラムや夢会議で議論しているのは、中高年世代が中

心であるように思います。出来れば若い世代の方々に直接お話を伺いたいものです。

そこで、今年度は、高齢世代と対比して、若い世代（団塊世代より若年の方）へのアンケート調査と、若い世代との討論会を開催することにしました。

若年世代のアンケートからは、親世代や若い世代との交流が「ある」人や、多世代との交流を望む人は、高齢世代より少ない結果になりました。特徴的なことは、親世代や若い世代との交流は、いずれも既婚者が多いということでした。

アンケート結果の考察をしながら、このことをしっかりアピールし、晩



婚化に歯止めをかけ、結婚を奨励し、ひいては、少子化も解決しよう！（笑）と力強い意見が飛び出しています。

七月のある日、若い世代との討論会に向けて、第一分野担当の専門委員、芳田大手前大学助教授を訪ねました。先生に最近の学生気質をお聞きするうち、私たちは「今の若者は挨拶しませんなあ……」「我々の若い時はこうしたもんでした！……」と、つつい、若者は、なつとらん！と予断や先入観が先走りそうになり、秋に予定している討論会がお説教する会？になりそうで心配になってきました。

そこで、討論会の前に、アイスブレイキングを入れることにしました。互いの人となりや少し見えて打ち解けたところで活発な議論が始まるように、「私を動物に例えろ」と「なぜなら：だから」などの『ほのぼの自己紹介カード』を交換しましょう！

いよいよ、十月十九日に、ゼミの学生さんと討論会を開催します。どこか心地よい緊張感が漂い、久々にときめいています。傾聴の心で、世代ギャップや価値観の違いを認め合ひ、豊かな意見交換会にしたいものです！！

十月一日 記す

（多世代交流グループ 酒井 富美子）

第一分野 合同企画の案内

私たちは、第三期阪神北地域ビジョン委員会のメンバーとして、「新しい公」の時代をめざして、四つの行動目標を共有しながら、第一分野では、「多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる」を行動目標に三つの県民行動プログラムを掲げ、目標の実現をめざし、多世代交流を通じて活動を行っています。

この活動を広く県民の皆さまに見てもらおう、知ってもらうことにより、行動目標の実現に向けた「理解」と「広がり」を期待し、第一分野の三グループによる合同企画を次の日程で準備を進めています。

- 一日時 平成十九年一月二十八日（日）
- 午後一時～四時
- 二 場所 ピピアめふ
- （阪急宝塚線売布神社駅下車すぐ）

分野合同企画は、ビジョン委員会として初めての試みで広く県民の皆さまに参加して頂くことはもとより、ビジョン委員会OB・現役の方々の積極的な参加とご支援が何より必要と考えておりますので、会議には是非ともご参加ください。

なお、プログラムの詳細は追ってご案内申し上げます。

（第一分野 八木下 榮一）

第一分野

語ろう！子育てで昔と今！

グループ活動開始以来私たちは、四市一町における勉強会での成果を基盤として、「子育て支援の輪」が広がるよう講演会などを企画、開催致しております。

その一環として、六月二十九日、川西市多田グリーンハイツ第一自治会館において、「語ろう！子育てで昔と今！」パネルディスカッションを開催致しました。良い天気にも恵まれ、また、いつもながらの「一時保育」も実施し、地域の方を中心に多数の皆様に参加していただきました。

まずは、「子育て」「子育て支援」実践中の、男女四人のパネリストの発表です。それぞれの地域に根ざした、特徴ある活動を熱く語るパネリストの方々からは、実践者ならではの説得力がありました。その一部を紹介します。①育児は大変。母親一人でストレスを抱え込まないで、多くの人に甘えてよいのでは。②小さな地域（隣同士・友人同士）での助け合いは可能。その中から子どもたちは大人と顔見知りになっていける。③父親の育児参加への呼びかけ。④子どもの自主性を重んじた上での大人の手助けが大切、などです。いびつになっている現代社会のありさま。子どもたちが安心して社会に出られ

るよう、私たち大人は考え、行動していくことが大切ではないでしょうか。

その後、会場の熱気をそのままに休憩を挟むことなく、参加者とのフリートークを開始。ここでは、世代を超え、また、男性から女性から、それぞれの子育て論、子ども時代の思い出、あるいはQ&Aなど、活発に意見交換がなされました。子どもを取り巻く地域社会の重要性を再認識した時間でした。

私たちグループがまいた小さな子育て支援の種が芽を出し、やがては地域の中の輪へとつながっていきけるよう活動していきたいと考えております。

(のびのび子育てサポートグループ 足立 博子)



子育て・子育て支援 本音でトーク!

日時；11月13日(月)10時～12時
場所；三田市総合福祉保健センター

介護老人保健施設 伊丹ゆうあい を訪ねて

「メイクにより、いきいき元気な人づくりを進める」をテーマに活動していますが、他グループのビジョン委員の紹介により、「伊丹ゆうあい」を九月十日に、初めて訪問しました。この施設には、診療所も併設され、医師、看護師、介護士、NPOの方や多くの職員の方たちが診療や介護に当たられています。定期的に、利用者の家族を交えて介護予防健康講座を行っており、その講座の中にメイク講座を入れて頂きました。事前にポスターを作



て、利用者やスタッフの皆さんに、私たちのグループ活動のことも知ってもらいました。当日、施設のスタッフの一人にモデルにな



って頂き、メイクの実演を始めました。簡単なメイクでどんどん綺麗になっていくので、みなさんの視線が真剣になっていきました。普段は化粧をしないという入居者の方も、口紅ひとつくらいつけてみようかと言われ、気持ちが明るくなっていくようでした。

施設関係者や家族の方から感想を頂きましたので紹介します。①綺麗になっていくことで自分も相手も明るくなれるし、前向きな意欲が出てくるのでは。②音楽療法やメイク(症状にもよりますが)では是非人生を楽しむで明るく生きて欲しい。

(いきいきメイクグループ 田辺 春朝)

各分野の活動紹介

第二分野



出前県民演芸団
「はじまるよ〜」
続々公演!

高齢者・障害者のためのコミュニケーションづくりを目標に、各地域の演芸ボランティアグループと一体となって立ち上げた「出前県民演芸団」では、聞き惚れる楽器の演奏や表情豊かな笑いあふれる落語など多彩な演目で来場者の参加も考えながら公演を続けています。

第二回公演を六月三日、宝塚市男女共同参画センターにおいて、八十余人の来場者を迎え、伊丹公演に続いて開催しました。

まず、私たちグループメンバーが主宰する「ほほえみ会」による「元気で、長生きするお話」。ユーモアあふれる魔法のことで、来場者みなさんも、「なきながら健康パワーをもらって頂いたようでした」。

次は、国内外で演奏活動されている生田流箏曲「菊允箏学社大師範」による琴のしらべです。来場者もうっとり、幸せ気分を味わい、そしてメドレー演奏にあわせて、一緒に歌いました。

宝塚・逆瀬台地区の高齢者の集いで自治会活動をされている「サロンド逆瀬台」有志によるコーラスでは、「なつかしい唄」の数々を来場者全員で声高らかに歌い、輪唱も交えて童心に戻っていました。

また、関西学院大学・甲山落語研究会のメンバー「櫻鷺亭かげろう」さんが落語の定番「まんじゅうこわい」を全身で表情豊かに、熱演頂きました。今回の落語では、同メンバーが出囃子を三味線で盛り上げてくれました。



6月3日



9月15日

さらに、津軽三味線と民謡。結成二十三年、日本古来の伝統文化を楽しんでもらうために各地で活動されている会員五十人の「恒栄会」から精鋭六人が登場。会場いっぱい響き渡る勇壮な演奏で、最後は津軽三味線をバックに太鼓や掛け声が入った津軽民謡を唄い、会場われんばかりの拍手の嵐でした。

九月十五日には、川西市の知的障害者授産施設小戸作業所において、伊丹大道芸サークルによる公演を行いました。皿回しでは、日頃表情の少ない方が、積極的に前に出て、明るく活発な動きをされるので、職員の方も驚かれました。施設からの要望で実現できた今回の公演は、グループにとつて初めてであっただけに、大変勉強になりました。

九月三十日には、川西市久代デイサービスセンターにおいて、川西市社会福祉協議会の紹介によるボランティアサークルの協力で開催しました。アンサンブル「コパン」によるマンドリンギター演奏、何か昔を思い出すような、また、故郷を懐かしむような音色に聞き惚れました。秋の歌や、子どもを思い出す童謡集では、平均年齢八十歳近いみなさんが声を張り上げて歌っていたきました。



9月30日



そして「吟睦会」による詩吟と剣舞。間近で見ることが初めての方が多かったのではないのでしょうか。最後は、和太鼓「みのり」による演奏。「豊年太鼓」を会場のみなさんがバチを持って演奏する場面もありました。笛や鉦と太鼓の競演「海のお囃子」など今回が初公演と思えないぐらいの熱演で、最後まで聞き惚れていました。

様々な施設での公演で感じ、得たものをグループの財産として、これからも頑張っています。

(明るく楽しく
健幸創りグループ

三好 勝男)

出前県民演芸団
「はじまるよ〜」
三田公演開催

とき：11月10日(金)
午後1時~2時30分
ところ：三田授産施設わくわく村

んなとこよ、お父さん!

知ろう! 創ろう
我がまちの魅力
お母さんもお父さんも、
一緒に参加しましょう!

主催：阪神北地域ビジョン委員会、兵庫県阪神北県民局
共催：伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町

地域見本市

11:00~16:30
5Fコンパス、6Fアステホール

参加申込
不要

地域の名所・名産、魅力あふれる地域活動など、地域の魅力がいっぱい!
試飲、試食(地域産物)もあります (数量限定)

宝塚市より

小浜小学校区まちづくり協議会、コミュニティすえなり、シニアパワーを活かす会、宝塚・アフガニスタン友好協会、宝塚映画祭実行委員会、宝塚NPOセンター、中山台コミュニティ、西山コミュニティ協議会、雲雀丘山手緑化推進委員会、ゆずり葉コミュニティ

伊丹市より

伊丹いずみ会、A&CP、小西酒造、泉堤シニアクラブ、ニード対応チーム隣組、ハーブテラスアップルミント

川西市より

行きませ! 消費者啓発グループ「てくてく」、音楽鑑賞同好会、川西再発見、川西市生活学校連絡会、くしろ夢舞台、市民事務局かわにし、女声合唱団りんどう、スペシャルオリンピックス日本兵庫川西ブロック、大和地区福祉委員会西5「原田サロン」、多田グリーンハイツ自治会ジェントルワン、多田グリーンハイツ「ふれあい公園」づくり推進協議会、多田小学校区コミュニティ推進協議会、多太神社の森を守る会

自然・文化・歴史の 魅力紹介

市民生活の 魅力紹介

三田市より

ガキっこクラブ、キッピーフレンズ、三田エコツーリズム研究会、さんだガイド塾、三田市生活研究グループ連絡協議会、三田花と緑のネットワーク、自立生活センター三田、宅老所いこいの家さんだ、場とつながりの研究センター、腹話術サークルニコニコ、文化財ボランティアさんだ

その他

こころ豊かな人づくり500人委員会、男女共同参画推進員阪神北地域、ビジョン委員会(多世代交流グループ・のびのび子育てサポートグループ・身近な緑を語り隊!・であいたい)、各市町、県民局 等

猪名川町より

森林ボランティア里山倶楽部、多田銀山史跡保存顕彰会、つつじが丘自治会、木喰会

住んでいる地域のこと、
どれだけご存知ですか？
この地域には魅力が満載！

地域見本市 「地域ってマ

と き：平成18年11月23日（祝）
11:00～16:30

ところ：アステ川西（JR川西池田駅、阪急川西能勢口駅前）

シンポジウム

12:00～15:30
6Fアステホール

参加申込は
お早めに！

パネルディスカッション

「地域ってこんなところよ、お父さん！」

地域の魅力や、退職後の地域での生き方、現役世代の地域活動への結びつけ方、仕事で培ったノウハウを地域活動に活かす方法など、地域のことを知る手掛かりを得ましょう！

コーディネーター

中瀬 勲 氏（県立人と自然の博物館副館長、兵庫県立大学教授）
自らも団塊の世代、自らのこれからを胸に、地域の魅力を語ってまいります。

パネリスト

堀江 忠司 氏（宝塚市 中山台コミュニティ 会長）
退職後、地域で生き活きと楽しく、無理なく活躍されています。

三井ハルコ 氏（特定非営利活動法人 市民事務局かわにし 副理事長（事務局長））
バリバリ働いている団塊の世代の夫を持ち、自らは地域で活躍されています。

福西 文彦 氏（社団法人 三田青年会議所 2007年度理事長）
仕事も脂がのった30歳代後半、地域へも積極的に貢献されています。

講演

講師 堀田 力 氏

東京地検特捜部検事としてロッキード事件を担当
現在、弁護士・さわやか福祉財団理事長として活躍中



肩書きをはずした時～あなたに何が出来ますか？～

定年後の生き方、地域活動を通じた生きがいなど、これからの人生の示唆も得ましょう！

参加申込・お問い合わせ：阪神北県民局

こどもと地域の環境会議

日時：平成18年12月10日(日) 10:30～15:00

場所：アステ川西 6Fホール (JR川西池田駅、阪急川西能勢口駅前)

主催：阪神北地域ビジョン委員会、(財)ひょうご環境創造協会
新さわやかな環境づくり阪神北地域行動計画推進会議
兵庫県阪神北県民局

第1部 楽しく学べる環境学習

将来を担うこどもたちが、「地域環境」ひいては「地球環境」について、自ら進んでこれらの問題に取り組む姿勢を養うことを目的に開催されます。ビジョン委員会第3分野の各グループが第1部の「楽しく学べる環境学習」を担当します。前半は「大人からのメッセージ」として、川西に伝わる「九頭龍伝説」を川西市多田小学校区コミュニティ推進協議会のご協力を得て、スクリーン形式による紙芝居として上演します。そして、この河川に関する地域伝承による導入学習を通じて、「川」→「森」→「自然との関わり」→「私たちの日常生活」→「守らなければならない地球環境」と展開することにより、環境問題への理解を深める学習を行います。後半はこどもとの交流の場として、全員参加型の「環境クイズ(水・緑・地球環境)」を実施します。目的はこれらのクイズを通して、現状を認識し、問題の存在を把握することにあります。その他、休憩・昼食時間を利用して、各グループによる活動の紹介および環境に関連するパネル展示も行います。環境に関心のある方々の参加をお願いいたします。

「九頭龍伝説」とは

川西に伝わる伝説である。

清和天皇のひ孫である源満仲が、住吉神社に願を掛けてこれからの新天地を神様に尋ねた。神様から、「北西に矢を射よ。その矢の落ちたところを居城とせよ」というお告げがあった。矢は五月山を越え、現在の川

西の山間部あたりで、源満仲が矢を見失った。そこで、老人に矢の行方を尋ねたところから、今の「矢問」という地名になったと言われている。老人に教えてもらったところには大きな沼があり、九つの



頭を持った大蛇(九頭龍)が満仲の矢に当たり大暴れをしていた。この大蛇は村人を苦しめていたので、退治したところ大いに喜ばれた。大蛇(九頭龍)が死んだ場所が「九頭死」という地名となり、沼から溢れた水が川になり肥沃な田んぼになったので「多田」の地名に、あふれた水は川となり、「猪名川」になったとのことである。



こどもと地域の環境会議

第2部 「阪神北こどもエコ探検隊」活動の発表及び意見交換

「阪神北こどもエコ探検隊」が活躍中です！

ヒートアイランド現象

チーム：伊丹市立北中学校理科部
チームコーディネーター：後藤昌弘氏（阪神北地域地球温暖化防止活動推進連絡会代表）
☆伊丹市立北中学校理科部が取り組んでいるのは、ヒートアイランド現象対策の研究です。
市街地の緑化状況調査及び緑化マップを作成しているほか、兵庫県主催の「打ち水大作戦」に参加し、その効果を体感しました。また、先進校である京都府山城町立山城中学校の視察、自校内20か所の気温や地温を測定するヒートアイランド現象観測事業を実施しました。



打ち水大作戦！

地球温暖化防止

チーム：猪名川町立猪名川中学校科学部
チームコーディネーター：中川勇二氏（(財)ひょうご環境創造協会地球温暖化防止活動推進課主査）
☆猪名川中学校科学部が取り組んでいるのは、地球温暖化防止を目的とした省エネ・リサイクルへの取り組みです。8月に各家庭で、エコタップやワットアワーマーターを使用した節電に取り組んだほか、「お店で環境調査隊！」と銘打ち、小売店におけるマイバッグ運動やリサイクルの取り組み及び環境に優しい商品の販売状況等の調査による5R運動についての学習などを体験しました。



お店で環境調査隊！

水の循環

チーム：伊丹市立鴻池小学校
チームコーディネーター：疋島巖氏（伊丹市みどり環境部環境保全課副主幹）
☆伊丹市立鴻池小学校が取り組んでいるのは、水の循環など水に関する学習です。
体験学習に先立って行われたオリエンテーションでは、みんなで、節水方法ときれいな排水方法について、グループワークを行い、活発な意見交換を行いました。
それをもとに、9月から10月にかけて、各家庭で節水に取り組み、その成果を「阪神北こどもエコチェック手帳」にまとめたほか、11月には水道記念館と下水道科学館を訪問し、水の循環について学習します。



オリエンテーションでのグループワーク

自然環境保全

チーム：三田市立藍中学校野外活動部
チームコーディネーター：荒木末弘氏（ひょうご森のインストラクター会阪神支部支部長）
☆三田市立藍中学校野外活動部が取り組んでいるのは、里山に関する学習です。体験学習に先立ち、10月に2回、オリエンテーションで、クラフト体験や学校近くの林での木に関する学習会を行いました。
また、全国育樹祭を契機に制定された「ひょうご森の日（10月29日）」のイベント「黒川里山まつり」に参加し、里山体験ハイクなど県民総参加の森づくり活動を体験しました。

自然環境保全

チーム：鴻池エコクラブ
チームコーディネーター：稲原有氏（きららの森代表）
☆鴻池エコクラブが取り組んでいるのは、五感を使っでの自然体験です。10月15日及び10月21日に、兵庫県立一庫公園をフィールドにして、五感をフルに使ったネイチャーゲームなどを通じて、人と自然のつながりを学習しました。

こどもと地域の環境会議では、こうしたこどもたちの体験学習の成果を発表します！

第三分野

猪名川流域エコバスツアー
一庫ダム堤内に驚き！

晴天に恵まれた七月四日、水循環、水と環境の関係、生態系など、水についていろいろな切り口から勉強しようという水グループのメンバーと一般参加者三十数人はバスで猪名川を上流へと向かいました。県立多田浄水場を見学した後、猪名川町ふるさと館へ、ここで「清流猪名川を取り戻す施策」を展開中の真田猪名川町長から説明を受けました。

昨年、町制施行五十周年を迎え、全国川サミットを開催し、これを期に流域市町が一体となって、ホテルが乱舞する清流猪名川を取り戻すためホテルの生息調査をはじめ「豊かな自然を守る森林環境」「資源を活用する生活環境」「親しめる河川環境」



▲猪名川町ふるさと館にて

の創造を目指しているとの話を興味深く聞きました。

次に猪名川の水源地である大野山の中腹まで登り、棚田、里山などを車窓から見学し森林（里山）と水浄化、保水力などについて勉強し、午後から一庫ダムを見学しました。このダムは猪名川流域の総合治水対策（洪水調節、水道用水の供給、既得取水の確保、河川環境の保全）として十六年の歳月と六三億円をかけて昭和五十九年三月に完成したそうです。

ダム湖の環境の変化の一つとして、生息魚類を見ると平成三年には外来魚は魚類全体の一・六%であったのが、平成十二年には四九・四%、そして平成十七年にはブルーギル等の外来魚は実に六五・二%までになって生態系が変わってしまったそうです。

私たちは、このあと、冷気漂うダムの底部にエレベーターで六十数メートル降りて見学しました。ダムの堤内には地震計、歪計などいろいろな計測機器が設置してあり安全監視をしていました。

最後は伊丹空港近くの原田流域下水処理場を見学。北摂地域の広域下水処理をする巨大な施設で、いろいろな役割を果たしてきた水はここできれいな水になり、大海へ帰ってきます。この処理場の上は大公園に

なっていて空港などを一望できるビューポイントとなっています。

今回の猪名川流域エコバスは猪名川のいとみなみと水についてより多角的に勉強できたエコツアーとなり参加者一同納得、有意義な一日でした。（水グループ 大下 章）



▲多田浄水場を見学

OB活動

燃え続ける
ビジョンパートナーの活動

私たちは、阪神北地域ビジョン委員会の第一・二期を通して、自然と豊かに調和した安全、快適な都市環境を創造する」とした課題の中で、『都市景観問題』グループとして、市街地にあふれる違法広告物に目を向け、不法看板・違法広告物の撤去に向け

実態の把握、具体的活動の実施策を検討しました。

その集大成として平成十六年六月『不法看板の実態と対策について』提言し、四市一町の担当者を訪問し、市民が自主的に活動できる体制作りを要請しました。

ビジョン委員任期明けの平成十七年春からは第三期のビジョン委員も参加して『阪神北地域不法看板撤去連絡協議会』を立ち上げて、ビジョンパートナーとして「県内全域で、不法看板の撤去に向けた市民活動が展開される」よう、情報の交換と啓発活動を進め、本年七月には県内九県民局長へ「のじぎく国体」にむけ、不法看板撤去活動推進」に対する協力要請と実現の申し入れをしました。

国体を「美しいひょうご」で迎えるよう、九月初旬より各地で、約百団体、約一千人が各市町と協働し、撤去活動を展開しました。

（ビジョンパートナー（ビジョン委員OB）

黒木 長通



第四分野

歴史、文化、自然を求めて

地域の魅力に親しむツーリズムの振興に役立つ地域マップの作成を目指して、私たちのグループは前回に引き続き、川西、伊丹、三田の各市を探索しました。

(川西市)

私たちはJR川西池田駅前の源満仲の像を皮切りに、満仲公ゆかりの多田神社、満願寺を訪れ、川西が清和源氏発祥の地であることを再認識しました。安和元年(九六八年)、満仲公は一族を引き連れて摂津の多田盆地に移り住み、多田の地を開発し強力な武士団をつくったとのことです。



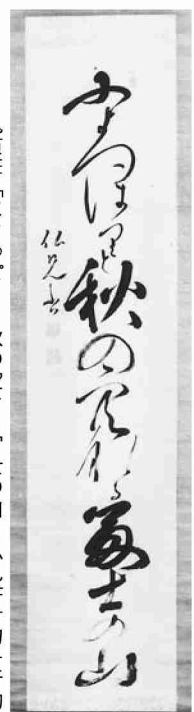
▲源満仲公像

川西は古くから開発され、いくつかの遺跡や古墳が発見されています。加茂遺跡は、JR川西池田駅近くの小高い丘の、弥生時代中期の大集落

の跡です。現在は住宅地となっており、言われなければ遺跡とは気が付きませんでした。このあたりが加茂遺跡と聞き感無量でした。たまたま、個人の新築工事に先立ち、市当局による発掘調査現場を見学することができました。市の担当者から説明を受けながら、地表からわずか三十センチ程度の深さに、弥生時代の土器の一部が埋まっているのを見て、弥生時代を身近に感ずることができました。発掘調査による出土品は文化財資料館で他の遺跡のものと一緒に見ることが出来ます。その展示品の一つに栄根銅鐸のレプリカ(実物は国の重要文化財で、東京国立博物館が所蔵)は高さ一メートル以上もある見事なもので感銘を受けました。勝福寺古墳は勝福寺の敷地内で発見された古墳時代後期の前方後円墳で、横穴式石室が発見されているとのこと。勝福寺に隣接する八坂神社の境内は桜や紅葉の樹が多く、広々としていて家族連れのピクニックに最適な場所と思います。

(伊丹市)

伊丹市では、まずJR伊丹駅前の、国の史跡有岡城址を訪れました。有岡城(伊丹城)は戦国武将、荒木村重が拡充した城で、織田信長に背き、落城しました。NHK大河ドラマ「功名が辻」を思い浮かべながら、当時



▶鬼貫筆「よっぽりと秋の空なる富士の山 仏兄書」句一行物

をしのびました。江戸時代に伊丹は清酒の醸造を中心とした産業都市へと発展し、その面影を旧岡田家住宅(国の重要文化財)や旧石橋家住宅などからうかがうことができました。

酒造りのもたらした財力に支えられ、酒造家の旦那衆を中心に俳諧が栄え(右の写真を参照ください)、文人墨客も多く訪れ、幕末には近衛家の領地であったことから、勤王の志士たちの往来も多く、伊丹は文芸の花咲く町となったとのことでした。私たちは柿衛文庫の展示品で、その一端を知ることができました。

(三田市)

三田については、これも古い歴史と文化に恵まれた町であることを知り、認識を新たにしました。私たちが訪れた金心寺はもともと八世紀創建という三田で最も古い寺で、飛鳥の政争に敗れた悲劇の皇子「有間皇子」の菩提を弔うために、藤原鎌足の息子定慧上人が建立した大伽藍で、三田の町はこの寺の門前町として栄えたとのこと。現在の金心寺は明治二年に現在地に移転したもので

すが、本尊の弥勒菩薩像は国の重要文化財で、その優しいお顔は印象的でした。三田は昔より山陰街道の要衝にあり、商業の中心として、三田藩九鬼家の陣屋町(城下)として栄えたとのこと。三田本町にはいくつもの現存の商家の建物から、当時の繁栄をしのぶことができました。明治初期に建てられた旧九鬼家住宅は擬洋風建築で、大変興味深く拝見しました。



▲九鬼家家老屋敷

私たちは各地を訪れてみて、それぞれの地に素晴らしい歴史や文化を感じて自然にであうことができました。(であいたい 稲葉 茂穂)

地域でこんな活動をしています

社会福祉情報番組を担当、参加して



私たちは
 男性二人、
 女性九人の
 グループで、
 毎月第一・
 三金曜日の
 午前九時三
 十分から十
 五分間、エフ・エムいたみの放送をボ
 ランティアで担当しています。ボラン
 ティア講座を受講した修了生有志で構
 成し、四つの班に分かれてリレー形式
 で行っています。

社会福祉関係の情報の提供、各地域
 で行われている活動の紹介、各種のイ
 ベント、ボランティアの募集情報等、
 地域の福祉に関する盛り沢山の内容を
 タイムリーにかつダイレクトにお届け
 しています。

活動現場に出かけて取材したり、ま
 た活動されている方を招いたり、市民
 の皆さんに少しでも理解して頂き、参
 加して頂けたらと皆で頑張っています。

取材することの難しさ、相手の立場、
 気持を受け入れること、言葉にして表
 現することの大切さ、時間内に伝え切
 ること、いろいろ経験しながら一歩一
 歩、なじみの深い番組にしていきたい
 と思っています。

(第二分野 測上トヨ子
 (VACランナー))

ホッとコーナー

宝塚海軍航空隊跡碑

阪急宝塚駅より宝塚歌劇大劇
 場への出入口付近の旧花道に、
 平成十三年三月、同期の戦友た
 ちが海軍のシンボルである八重
 桜を植樹し、同航空隊跡と記さ
 れた碑が存在する。

先の大戦末期に全国より、国
 の大事と馳せ参じた少年たちが
 歌劇場等にて(当時は海軍省が
 接收)寝食を共に初期の軍事教
 練を受け、修了後飛行技術習得
 の為、各地の航空隊に配属され、
 その習得後は戦人として出動、
 祖国・故郷への想いを胸に多く
 の若人が、南の空・海に散華す
 る。

海軍飛行予科練習生約三千人
 が、汗と涙を流し巢立った跡地
 である。

其の昔集いし若人よ

今宵月より見る訓練場

(であいたい 丸橋 保雄)



男女共同参画勉強会を
 実施しました

日時 九月十五日(金)
 十五時から十六時三十分
 場所 阪神北泉民局 第四会議室
 講師 兵庫県立男女共同
 参画センター
 中野 則子 所長
 出席者 ビジョン委員他 十八人
 内容 少子高齢社会と
 男女共同参画社会

編集後記

活発なグループ活動や特集記事な
 ど満載の第十号ですが、いかがでし
 たか。

第三期の広報部会もラストスパー
 トをかけて、有終の美が飾れるよう
 がんばりますので、みなさまの感想
 をお待ちしております。

広報部会は、次のメンバーで構成して
 います。

第一分野

多世代交流グループ
 三國 勲
 のびのび子育てサポートグループ
 平井みどり
 いきいきメイクグループ
 ○寺本枝美子

第二分野

明るく楽しく健幸創りグループ

三好 勝男

ニコニコ水曜会

○平野 政彦

夢と希望のしくみづくりグループ

吉田 哲彦・今北喜代子

第三分野

水グループ

○大下 章

身近な緑を語り隊!

松村 芳郎

都市環境グループ

藤野 暁子・衣笠恵美子

第四分野

であいたい

稲葉 茂穂・神内 重明

助台三千雄・丸橋 保雄

何かいいことクリエイトグループ

小原 孝子・不破 昌子

○村上 一郎

(◎は代表 ○は副代表)



〈お問い合わせ先〉

阪神北泉民局地域ビジョン課

宝塚市旭町二丁目四番十五号

電話 ○七九七―八三三―二一九